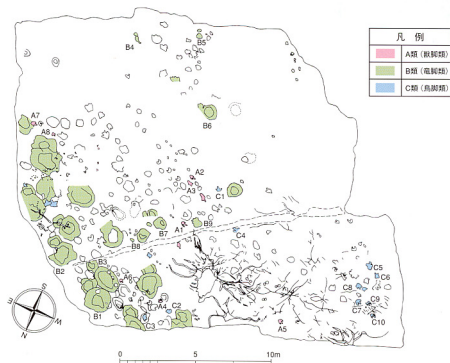


富山県大山町で発見された恐竜類足跡化石群

〈地質調査所 佐藤 喜男〉



1. 大山町足跡化石群分類区分図

足跡化石は恐竜類の分類に合わせて亜目のレベルで分類区分されています。獣脚類、竜脚類、鳥脚類の他、鳥類が報告されています。(富山県恐竜足跡化石調査委員会, 1997)



2. 大山町足跡化石群産地全景

足跡化石群は砂岩優勢砂岩泥岩互層の砂岩上に残されています。産出層準は手取層群石徹白亜層群長棟川累層猪谷互層で、地質時代は白亜紀前期(1億1000万年前)と考えられています。



3. 露頭面上面防水工事後の露頭面

露頭面は常にビニールシート、金網によって被覆されています。この状態で発見されから4年が経過し、露頭表面は風化が始まっています。



4. 足跡化石群の露頭面右上から産出した恐竜類の歯化石

1999年6月18日、大山町の依頼で筆者が露頭上面の防水工事のチェックのため来町した際に大山町職員の藤田将人学芸員が発見。ナイフ状(約23mm×13mm)で歯の片側は明瞭な鋸状の刻みが有ります。

(口絵1、2は富山県教育委員会文化財課の厚意により富山県恐竜足跡化石調査報告書に使用したものを借用しました。)